

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900150		
法人名	株式会社サンクリエイト		
事業所名	西町グループホーム		
所在地	広島県三原市西町一丁目10番8号 (電話) 0848-62-9531		
自己評価作成日	平成28年3月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3490900150-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年4月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・利用者様が心穏やかに笑顔で過ごして頂けるよう、職員が真心で関わりを持っています。・地域の方と交流する機会を増やし、ふれあいを大切にしていきます。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>2階建ての2ユニット（定員18名）である。住環境は、とても開放的であり、毎日の掃除により清潔に保たれている。窓を開放しても他者から見られることが無く、外を眺めることができる生活空間である。職員は、常に利用者が心穏やかに笑って頂くためにはどうしたら良いかを考え、職員間で話し合いを重ねて、日々の支援をしている。行事は、年度毎の行事予定表を作成し、季節毎の外出支援や事業所の祭りなどを行っている。家族との交流を大切にし、敬老会・クリスマス会には家族の方が訪問され、利用者と家族と一緒に過ごす時間を増やしている。現状の身体機能が維持できるように、レクリエーション（体操・朗読・歌など）を毎日取り入れ、とても好評である。管理者は昨年（H27年10月）就任したばかりで、今後は働きやすい職場づくりと利用者の楽しみである外出支援を増やしていきたいと考えている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関フロア、スタッフルームに掲げている。また、スタッフの入社時に説明し、スタッフの名札に入れ常時目が届くようにし、スタッフ全員が共有しています。	フロアー会議（月1回）で共有している。常に利用者のことを考えて、実行に移すようにしている。今後は、新人職員が入職時にオリエンテーションなどで、理念についての必要性の勉強会を取り入れていきたいと考えている。	今後は、職員間で話し合いをされ、年間目標・個人目標などを作り上げ、理念と照らし合わせながら、日々実践・全員で共有しながら支援して頂くことを望みます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	敬老会等で地域の方に事業所の行事等をお知らせし、ボランティアでの慰問のお願い等、交流が活発になるよう声をかけています。	グループホームがある地域は、高齢化率が高いということもあり、関わりが難しい状況である。職員も町内清掃などを手伝い、地域との関わりをしている。今後、グループホームの理解を深めるためにも、近隣の協力者を増やしていきたいと考えている。	地域住民の理解が不可欠なため、今後は①事業所の夏祭り参加の案内②事業所を開放して町内会会議などに活用③日々の散歩を通して、地域の人との自然な関わりが出来るように取り組むことを望みます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会長、民生委員の方を通して、公民館や交流スペースとしてご利用いただける事をお知らせし、その際は、グループホームでの利用者の生活状況をお話しています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に一度開催し、運営状況等を報告し、出席者との意見交換を行っています。	出席メンバーとの信頼関係が構築されている。現状を報告するなかで、相談・検討を行い、それらの意見をサービス向上に活かしている。	家族が特定（代表者）の人のみである。今後の取り組みとして、①参加しやすい開催日時を検討②行事案内や会議の目的を説明③アンケートや来訪時に意見を聴くなど、それらの意見を踏まえた取り組みを望みます。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加して頂き、不明なことがあればその都度相談させていただいています。	市担当者は運営推進会議に参加されている。必要時には電話連絡などで相談し、協力関係が築けるようにしている。今後、他の事業所との交流を深める目的で、市が主催され、市内の同業事業所が集まる会合を準備されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>系列の施設と共同でマニュアルを作成し、ミーティングや勉強会で全職員に周知を図っています。</p>	<p>玄関は、日中は開放している。利用前の経緯から家族の了解を得て、夜間等のベッドからの転落の可能性が高い利用者に対して、やむを得ずベッドの2点柵（身体拘束）をする場合がある。利用後は身体拘束されていたケースも職員間で話し合い、身体拘束を解除されたこともある。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設外の研修参加、施設内での勉強会により、職員間の意見交換を行っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会で資料を配布し説明を行っている。新入職員にはオリエンテーション時に資料を配布しています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時の契約時に、締結、解約、改定などの説明を行い、ケアプラン見直し時に不明点は随時対応する旨伝え、不安・疑問を払拭するよう努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議に家族代表として1名参加して頂き、意見交換の場を設けている。利用者様には、日々の会話から要望されていることを聞き取るよう努めています。</p>	<p>毎月のホーム便りの送付や面会時には、日頃の様子を家族にお知らせしている。利用者の個々の要望などは、日々の関わりから汲み取るように努力されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度ミーティングで職員の意見等を聞く機会を設け、管理者から代表者に提案したり、必要に応じ個人面談を実施しています。	日々の雑談や月1回のミーティングなどで意見などを聴く機会を設けている。必要に応じて代表者から直接面談を受けることもある。同グループに臨床心理士が配属されている。今後、職員のストレスケア・カウンセリングの対応ができるよう試行されていた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	不定期に職員との面談を行い、研修会に参加しスキルアップできるよう支援し、定期的に職員と面談を行い、管理者等と会議で協議しながら職場環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人外の研修に参加できる配慮をし、法人内では認知症・虐待・介護技術の指導を、担当職員が指導者となって研修を実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域で開催される研修会に参加し、他職種との繋がりを大切にし、他施設の意見や実践成功例を参考に、職員に伝達しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用開始前は、管理者兼ケアマネジャーが話を傾聴しながら関係を作り、利用者のニーズ等について、職員に周知を図っている。利用開始以降は、職員が入居者様と充分関わりを持つようになっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者様同様、家族様に対してもまず管理者兼ケアマネージャーが傾聴し関係を築いている。職員は利用者様と関わりを持ちながら、徐々に家族様と色々なことが話できる関係が築けています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人様また本人様の意思が確認できない場合は、家族様と十分な話し合いの機会を設け、何を必要としているのか、何が必要なのか、本当に必要なのかを判断し対応しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者様とゆったりした時間の中で、入居者同士職員も含めて、一緒にレクや会話を楽しんだり関わりを持っています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日用品の持参と定期的な面会の際には、日頃の生活や様子などをお話しし、入居者様や家族様の希望も聞き、話をする中でお互いの理解を深め、共に協力できるような体制を整えています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>電話の取次ぎや面会の受け入れをしています。家族様からの電話には本人に取り次ぐか確認をしています。</p>	<p>ヘルパーの利用や家族の協力により、外出・外食をされている。以前の美容院へ行かれたり、年賀状を書かれる方もおられる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>入居者様の関係性を把握し、無理なく楽しい時間が過ごせるよう職員が架け橋となるよう努めています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>サービス終了時に相談等対応できる旨伝えていきます。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日頃の会話の中から本人様から希望を聞き、ご家族様からは面会時、ケアプラン説明時に聞いて支援を検討し実施に努めています。</p>	<p>日々の会話や行動などを個人ファイルに丁寧に記録し、職員全員が共有している。利用者個々の希望や意向が反映され、可能なことは実現できるように支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>アセスメント情報や入居者様・家族様からの聞き取りから把握し、施設生活に活かせるよう努めています。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>入居者様の担当を設け、1対1での関わりを意識し、心身状態等について、把握するよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご家族様・入居者様から要望などを聞き取り、ケアマネージャーを中心に入居者担当職員と検討してケアプランを作成し、サービスの実施とモニタリングを、全職員でカンファレンスで行っています。</p>	<p>“心穏やかに笑って過ごして頂くように”利用者および家族の要望を踏まえて、介護計画の作成及び実施をしている。本人の状況を把握しながら、家族に意向を聴いてプランの作成を見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の記録の充実、申し送りによる情報共有を図っています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ニーズの変化に対応できるよう、その都度職員間で検討し、日々のケアに取り組んでいます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のボランティアを受け入れることで情報を収集し、協力できる体制をとっています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者様が希望の、往診医を受け入れ、転院する場合は紹介状の依頼を受け付けています。受診時には主治医宛の情報提供書をご家族にお渡ししています。</p>	<p>大半の利用者がホームの協力医を主治医としている。24時間相談できる体制と主治医の応診が月2回あり、一人ひとりの健康チェックがされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から状態観察を行って、気付いたことは報告する体制をとり、異変時は往診か受診の判断をお願いしています。また、24時間体制で連携が図れるように緊急時の対応をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ケアマネージャーとソーシャルワーカーが連携を取りながら、情報交換を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取りケアは現在行っていないが、最期まで安心して生活して頂けるよう、可能な限り支援しています。	看取りの経験は今のところ無い状況である。重度化やターミナルケアに向かう事例が出た場合にはその都度、主治医や家族との話し合いを重ねての対応としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	消防署主催の救急救命の講習の受講、救急マニュアルの活用、日々のケアの中から実践力を身につけるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練、火災水害時の避難場所を決め、地震津波時の訓練の実施や避難経路マップを作成しています。	年2回の訓練を実施している。特に災害時は、初動行動が必要なため、今後は近隣住民との連携を深める取り組みをしていきたいと考えている。	特に水害時には、近隣の高台への避難が望まれます。地域との協力体制が出来ていない状況でもあり、災害はいつ起こるかわからないため、今後の災害に備えて、運営推進会議での話し合いを行い、地域との協力体制づくりに努めることを望みます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は施設内の認知症研修を受け、認知症の理解を再認識し、思いやりを持ったケアの提供を心がけています。	職員は外部研修や社内研修を受けている。日々の言葉掛けも、穏やかに対応することを心がけ、一人ひとりの性格やペースに合わせて不快な思いをさせないように、十分気をつけた対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ゆったり、じっくりと関わりを持ち、入居者様の思いを傾聴して、話しやすい雰囲気作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の好みや思いを尊重し、レクや家事提供等の支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日々の整容は、声掛け、見守り、介助で対応し、散髪時には入居者様ごとのヘアスタイルをお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	テーブルや食器拭き、献立の話、一緒におやつを作ったりしています。	3食の副食（おかず）は外注としている。敬老会・クリスマス会には、お弁当を注文し、利用者と家族と一緒に食事をされている。お花見や誕生日には、本人の好むものを取り入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事・水分量をチェックし、不足時は代替品で対応している。現在はいませんが、嚥下障害の方はミキサー・やわらか食で対応していました。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>入居者様の状態に応じて、声かけ・見守り・介助を行い、希望される方には歯科医院の往診を受け付けています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を活用し、個別に排泄誘導・声かけを実施しています。</p>	<p>状態に合わせてのトイレ誘導や、身体状況に応じて、ベッド近くに、ポータブルトイレを設置している。適切なトイレ誘導を行い、紙おむつ使用を減らし、自立に向けた支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘傾向の入居者様には、看護師や主治医と相談しながら、個別に乳製品の摂取、薬剤を調整し、便秘の予防に努めています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>職員一人が声かけから整容まで担当し、毎日午後から2～4人程度支援しています。歌好きの方、長風呂の方、風呂嫌いな方それぞれ対応しています。</p>	<p>週3回の午後（13：30～）入浴を行い清潔保持に努めている。皮膚トラブルがあれば、必要に応じて皮膚科の往診を受けることもある。一人ひとりの希望やペースに応じた柔軟な対応がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日中は個々の体調を観察しながら安静を促したり、夜間不眠者には一緒にテレビを観たり話をしたり等の対応をしています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方薬の説明書はファイリングし、すぐ確認できるようにしている。日々状態観察をし、往診時に主治医に相談しています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一緒に洗濯物を干したり畳んだり、食器を洗ったり拭いたり、掃除をしたり、個々の好きなレクの提供に努めています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>花見や紅葉狩り、ご家族様との外出等支援しています。</p>	<p>年度毎の行事予定表を作成し、季節毎の外出支援をしている。家族の協力を得て、散髪や食事をされる方もおられる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>金銭は事務所で預かっているが、入居者様の希望に沿って使用できるよう、支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話・手紙のやり取りはいつでも受け付けています。近隣の郵便局へ一緒に投函に行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースは過ごしやすく且つ安全面に配慮し、足元は十分なスペースをとっています。壁面は季節感を飾りで演出したり、個々の作品展となっています。</p>	<p>利用者の作品や季節感が味わえる作品を、壁面に飾り付けしている。利用者の大半は、リビングで過ごすことが多く、ゆったりとした空間で、一人ひとりが心休まる生活をされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テレビの前にソファを置き、他入居者様と話をしながら観たり、それぞれ自由な時間を過ごされています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使用していた物の持ち込みや、家具の配置をご家族様、入居者様と相談して決めています</p>	<p>利用時に必要性を説明し、仏壇や寝具・家具と生活必需品が自由に持ち込まれている。利用者や家族と相談しながら、快適な居住空間づくりに努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物はバリアフリーで安全面に配慮されています。自室内は本人の使いやすいよう又安全面に配慮し、車椅子・歩行器・ポータブルトイレ（夜間のみ）の配置に留意しています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	勉強会やフロアーミーティングで、基本理念について、各自が取り組んでいるか確認し、理念に沿ったケアを目指しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事の際は、地域のボランティアさん呼び、交流を深めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内に公民館がないため、必要時は施設の会議室を使用させていただきよう、声掛けをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、運営状況を報告し、出席者との意見交換を行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議に参加していただき、分からない事などは、その都度相談させていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の研修会に参加し、施設内の身体拘束マニュアルを作成している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設外の虐待防止の研修会へ参加し、施設内でもスタッフ全員に研修を行い、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人制度の勉強会を行い、スタッフに理解を求めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、管理者が重要事項の説明と共に、契約書の内容についての質問・疑問を納得されるよう説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議に家族代表の方にも参加していただき、意見を出す機会を設けている。また玄関入口に「意見箱」を設置している。入居者様には、会話を通して希望などをお聞きしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に一度フロアーミーティングを行い、職員の意見や提案など話し合う機会を設けたり、個人面談を行い、運営に反映させている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	職員個々の面談を行い、懸命に努めています。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	施設内、施設外の研修へ参加出来るよう配慮しています。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	地域で開催される研修会に参加し、他施設、他職種の方と交流する機会が増えてきています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居される前にご本人に見学をしていただき、管理者・ケアマネ・フロアーリーダーが本人より不安な事など、要望を聞き、関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	施設での生活を不安なく過ごせるよう、何にでも耳を傾け、関係作りに努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	ご本人、ご家族の話をよく聞き、必要とされる支援に対応するよう努めている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	入居者の方に出来る事や可能な事などはお願いし、スタッフが一緒に行っている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	入居者の方の、少しの変化などでも御家族に連絡させて頂くようにし、行事等にも参加して頂くよう声掛けをしています。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	電話の取次ぎや面会の受け入れにより、馴染みの方との関係が途切れないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者、一人ひとりの関係を把握し、食事のテーブルを工夫したりして、無理なく関わりながら生活出来るよう努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	サービス終了時に、何かあれば相談等対応させていただく旨、お伝えしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	入居者本人の要望、意向を御家族と共に定期的に話しをして支援している。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	アセスメント情報交換を行い、生活歴や馴染みの暮らしなど、本人や家族との会話等から聞きだし、把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	入居者様の担当を設け、心身の状態や身体機能の現状を把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	カンファレンスや関係者への相談、家族からの聞き取りなどから、ケアプランの作成をケアマネを中心に担当スタッフと一緒に作成している。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	個別記録内容を充実させたり、申し送りの際、スタッフ間での情報交換を行っている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	本人や家族のニーズの変化に対応して、希望に近づけるよう職員間で検討し、支援サービスに取り組んでいる。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	地域のボランティアの受け入れを行っている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	入居者様の希望の往診医を受け入れています。受診時には、主治医宛の情報提供書をご家族に渡しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>異常時には、看護師に報告・相談し、かかりつけ医に連絡し、指示を受ける事により、適切なケアを行えるよう心がけている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ケアマネージャーとソーシャルワーカーとの情報交換や連絡、相談を充実させています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>家族の方の精神面にも考慮しながら、ホームで対応が可能な限り、支援していくよう取り組んでいます。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>研修や救急マニュアルを活用して、出来る限りの対応ができるよう、日々のケアから実践力を身に付けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の避難訓練の実施。火災・水害の場合の避難場所を決めている。地震・津波時の訓練の実施や避難経路マップを作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者一人ひとりの性格やペースに合わせて、無理強いしない声掛けや、不快な思いをされないように、また日々穏やかな生活をしていただけるように心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の日常生活の中で、希望や思いを伝えてもらえるように雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ケアの状況によっては、職員側の都合を優先することもあるが、常に個人の思いを尊重し、無理のない生活を支援できるよう心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみをキレイにさせていただくよう声掛けをしたり、困難な方には、身だしなみを整えるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食前のテーブル拭きをしていただいたり、本日の献立の話をして、食事を楽しめるよう配慮している。また食後は、食器やお盆などを拭く手伝いをさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量、水分量のチェック表を使用し、1日に必要な量が確保、維持できるよう努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>一人ひとりの口腔内、残歯、義歯に合わせたケアを毎食後、支援・見守り・声掛けを行っている。口腔体操を日常的に行っている。希望される方には、歯科医院の往診を行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握するよう努め、支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェック表で状況確認し、便秘傾向の方には、乳製品の摂取や緩下剤の服薬を看護師やかかりつけ医に相談しながら便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者からの要望や気分を尊重し、無理なく個々に応じた入浴の支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日々の体調を把握しながら、一 人ひとりの状況に応じて、安 心して休息や臥床ができるよう 配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>個々にあった服薬援助を行い、 症状や副作用の観察を行っている。 薬剤師との連携を密にして、不 安な事は尋ねている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>気分転換が図れるように、個人 に合った役割を提供できるよう 支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>季節に合わせた行事を計画、実 行したり、家族の協力を得て外 出をしていたり、状況を見て戸 外へ散歩できるよう努めている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>入居者全員の預り金があり、事 務所で管理している。本人の希 望に応じて使用できる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望時は、いつでも電話を使用できる環境にある。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースは過ごしやすいうように、物の配置など工夫している。季節感や生活感などを取り入れる事で、居心地良く過ごせるようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>入居者の方の状況に応じて、テーブルの配置を工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人と家族と相談し、自宅で使用していた物を持ってきてもらったり、本人が居心地良く生活出来るよう配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物全体は、安全に過ごせるよう環境の整備に努めている。室内は本人の使いやすいように物品を配置している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 西町グループホーム

作成日 平成28年5月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	海抜がかなり低く、川が隣接しているため、津波や氾濫した際の対策が必要。	災害（地震・水害・火災）に備えた行動ができる。	防災訓練を実施する際、定期的に水害時の訓練も取り入れて行う。	1年
2	2	地域の方も高齢で、デイサービスを利用されたり、施設に入所されていたり、空き家も多い。	施設の行事に参加して頂き、西町グループホームの周知を図る。	地域の民生委員や町内会長を通じて、行事への参加を呼びかけていく。集会所としての利用も積極的に呼びかけていく。	1年
3	4	入居者の御家族も高齢になっているため、1名の方を代表として参加して頂いている。	多くの御家族と関わりを持ち、生活の意向や要望などを汲み取る。	各フロアーから1名ずつ選出し、交代で出席して頂けるようお願いする。	2ヶ月
4	1	月1回のミーティングの場だけでは、職員の意識に定着し難いと思われる。	理念が職員に定着し実践できる。	理念を基に年間目標、個人目標を作る。	3ヶ月
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。